

2026年5月1日

各 位

会社名 株式会社ブイキューブ  
代表者名 代表取締役社長 水谷 潤  
(コード番号：3681 東証プライム)  
問合せ先 常務取締役 CFO 山本 一輝  
(TEL. 03-6625-5011)

## スポンサー基本契約に基づく最終契約の交渉状況に関するお知らせ

当社は、2026年3月31日付「上場廃止基準抵触による当社株式の監理銘柄（確認中）指定の見込み及びスポンサー基本契約締結のお知らせ」（以下「2026年3月31日付適時開示」といいます。）において公表いたしましたとおり、株式会社日本革新投資（以下「J-INC」といいます。）との間で、J-INCが設立するSPCに対する第三者割当を行い、株式併合を行って当社を当該SPCの完全子会社とする取引に関して、スポンサー基本契約を締結しております。

2026年3月31日付適時開示に記載のとおり、スポンサー基本契約において、当社とJ-INCは、2026年4月中の法的拘束力ある最終契約締結を目指す旨規定されており、これに基づき、当社及びJ-INCは、2026年5月8日までに最終契約を公表することを目指して交渉してまいりました。

そうしたところ、昨日、当社はJ-INCより、①2026年4月24日付「特別調査委員会設置のお知らせ」で公表いたしましたとおり、当社が特別調査委員会を設置したこと、②かかる特別調査委員会の設置を受けて、今般、2026年4月30日付「2025年12月期有価証券報告書に係る監査報告書の意見不表明及び内部統制監査報告書の意見不表明に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社の会計監査人である太陽有限責任監査法人が2025年12月期の当社財務諸表及び当社連結財務諸表について、その監査意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手することができなかつたとして監査意見を不表明としたこと、また③2025年12月期において当社の連結子会社であった米国TEN Holdings, Inc.（以下「TEN」といいます。）が2026年3月18日付のForm 10-Kで開示しているところ、TENは現在米国連邦検事局及び米国証券取引員会による調査の対象となっているところ、当該調査の対象について十分な情報を得られていないこと等を理由として、スポンサー基本契約で定められた価格（2026年3月31日付適時開示2（2）参照）で最終契約を締結することは困難である旨の申出（以下「本申出」といいます。）を受けました。

J-INCにおいては、上記の影響を精査中とのことであり、本日時点では、本申出を踏まえた具体的な変更内容（第三者割当増資の払込価格及びスクイーズアウト価格を含みますが、これらに限られません。）の正式な提案は受けておりません。但し、J-INCは、本申出において、J-INCにとって許容可能な条件（金融機関との合意内容を含む）となる前提において、当社の支援策を検討協議する意向は維持しており、本申出は最終契約に向けた協議を打ち切ることを意味するものではないとしています。

当社としては、当社の企業価値の毀損を回避し、財務状態の抜本的な改善と事業の再建を図るためには、資本性資金の確保を含む外部からの出資が不可欠であると認識しております。また、当社は、2026年4月22日付「スポンサー基本契約の代替提案の提案状況に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、マーケット・チェックを実施したものの、法的拘束力のある代替提案の受領には至りませんでした。時間的制約の下で当社の選択肢は限定されていると認識しております。

以上を踏まえ、当社は、J-INCとの間で、出資の実行に向けた協議を継続し、当社の企業価値及び株主価値を可及的に維持、向上し得る条件の下で、最終契約の締結に向けて協議を進め、合意に至った場合には、最終契約の締結及び公表を行う予定です。

以 上